

報道資料

令和4年8月22日(月)

福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 担当:馬場・野坂

電話:0742-27-8653(ダイヤルイン)内線:3110、3111

新型コロナウイルス感染症の院内感染事案(クラスター事案)の発生について (公益財団法人天理よろづ相談所病院白川分院第3報(最終報))

公益財団法人天理よろづ相談所病院白川分院において、これまでに入院患者16名、職員17名計33名の感染が判明しました。感染状況から入院病棟A及び入院病棟Cにおいて院内感染(クラスター)が、入院病棟Bにおいて院内感染が発生したと考えられます。

これを受け、当該医療機関では病棟の職員及び入院患者に健康観察を行ってきましたが、健康観察期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていないことから、院内感染事案は終結し、本日(8月22日)から、公益財団法人天理よろづ相談所病院白川分院はすべての病院機能を再開します。

感染拡大の原因は、感染者の早期発見および感染防御策の徹底が不十分であったことと推定しています。当該医療機関では改めて職員の感染防御策の徹底(手指消毒、マスク着用、PPE(個人用防護具)着用)と職員・患者への健康管理の徹底を行うなどの再発防止策を講じたところです。

1 発生場所

公益財団法人天理よろづ相談所病院白川分院(所在地 天理市岩屋町604)

2 感染者の概要(合計33名)

- 経緯:入院病棟A 7月18日に1例の感染を確認。濃厚接触者等の検査結果から21例の感染を確認。
入院病棟B 7月26日に1例の感染を確認。濃厚接触者等の検査結果から1例の感染を確認。
入院病棟C 7月28日に1例の感染を確認。濃厚接触者等の検査結果から8例の感染を確認。

・感染者内訳:入院患者16名、職員17名

20代10名、30代3名、40代2名、50代3名、60代4名、70代6名、80代4名、90代1名

	入院病棟A	入院病棟B	入院病棟C
入院患者	12名	1名	3名
看護師	6名	-	6名
准看護師	1名	-	-
介護福祉士	2名	1名	-
リハビリ医療技術者	1名	-	-
合計	22名	2名	9名

※第2報(8月2日)以降、新たに入院患者2名、職員3名の感染が判明しています。

3 県の対応

- ・入院患者の健康観察の徹底と発熱等患者発見時の早期検査実施を指示
- ・職員の日常生活を含めての感染対策の徹底を指示

4 病院の対応(8月22日0時点)

- ・関係箇所の消毒実施
- ・入院病棟Aの新規入院を休止(7月19日~8月8日、8月11日~8月21日)
- ・入院病棟Bの新規入院を休止(7月27日~8月8日)
- ・入院病棟Cの新規入院を休止(8月1日~8月14日)

感染症法第16条第2項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。